Kansai University Junior Senior High School

Project Based Learning

考動力の育成について

本校の探究学習では，「学の実化」を目標に掲げ，学理と実際との調和を目指して「自律力」「人間力」「社会力」「国際力」「創造力」のコンピテンシーを育成することで，生徒たちは考動力を身につけていきます。

中等部１年生から高等部３年生までの間，具体的にどのような活動ができることが望ましいのかをベンチマークに示し，これをもとに探究活動を進めています。

考動力

自律力

メタ認知力
自ら関わる力
論理的思考力
多面的なものの見方

人間力

思いやる力
他者を受け入れる力
共に学ぶ力
合意形成力

社会力

場に応じたふるまいができる力
社会のルールを守る力
自分事として捉え行動する力
状況把握力

国際力

異文化コミュニケーション力
外国語運力能力
多様性受容力
自国理解力

創造力

問題発見力
課題遂行力
統合力
表現力

初等部 / 中等部 / 高等部

『学の実化』：グローバルに対するローカルへの視座の錬成 / 自己のアイデンティティの確立

感性豊かな子，考える子，挑戦する子

知的好奇心を高め，情感豊かな心を育てる

探究する力に根ざした，高い人間力を育てる

ミューズ学習・生活科・総合

ミューズ学習：６つの思考スキルの習得
生活科・総合：思考スキルの活用
気づき，探究

考える科・総合

考える科：思考スキルの総合的な活用
総合学習：課題選択・解決手段の構築

プロジェクト基礎・プロジェクトゼミ・卒業研究

自ら課題設定・解決手段の構築
社会への新しい提案・貢献

E1.2 異文化発見

韓国（２年）
家族や地域社会との直接的な関わりを通して，自国の文化について関心をもち，さらに自国と比べた異文化についても目を向ける。

E3.4 異文化交流

中国（３年）
台湾（４年）
国際交流活動を通して，自国と他国の文化の違いや共通点を知り，異文化に関心をもつ。

E5.6 異文化交流 国際協力

フィリピン（５年）
オーストラリア（６年）
国際交流活動を通して，世界の現実を知り自分にできる国際協力を考え，実践する中で，認め合い，支え合い，関わり合うことができるようにする。

J1 MACHI プロジェクト

- 高槻を知り，高槻に関わり，高槻の人とつながる -

- Ⓐ 国際系列：姉妹都市交流からみる町
- Ⓑ 地歴系列：古墳，城跡，西国街道，安満遺跡からみる町
- Ⓒ 自然系列：高槻垣，自然災害跡地からみる町
- Ⓓ ボランティア系列：ボランティア活動からみる町

→ 高槻の未来を考える（プラン発表）

考える科１「水平思考」
多面的思考（コミュニケーション１）→多面的思考（ディスカッション）→ 評価（プレゼンテーション）→ 比較分類（調べるミッション）

関西大学中等部がある町「高槻市」。私たちは知らないうちに高槻市の皆さんに助けられながら，高槻の資源の恩恵を受けて過ごしています。高槻にいる多くの人やモノと関わることによって，高槻がどういった場所で，どのようなことが行われているのかを知り，高槻にある学校の生徒として貢献できることを考えていくプロジェクトです。

J2 MIRAI プロジェクト

- ものづくりから人がつながる地域づくりへ -

- Ⓐ 一次産業：農林水産業
- Ⓑ 二次産業：製造加工業
- Ⓒ 三次産業：金融流通販売業

→ 日置川地域の産業を考える（民泊・物産展）→ 地域の未来を考える（ディベート）

考える科２「垂直思考」
合意形成（コミュニケーション２）→ 批判的思考（ストレスマネジメント）→ 論理的思考（ディベート演習）

みなさんの食卓に並ぶごちそう，そこにたどり着くまでに，いったい何人の人が関わっていると想像できますか。人が働き，ものが流通することで，人は暮らしていけるのです。

産業の構造を知り，人と人とのつながりを実感し，人が暮らす地域とは何かを産業を通じて考えるプロジェクトです。

J3 MICHI プロジェクト

- 高槻，地域，世界の人とつながり，自分のあり方を考える -

- Ⓐ おもてなし系列
- Ⓑ もったいない系列
- Ⓒ 縁（えん）系列

→ カナダ学校交流ホームステイ → - My Story - 自分の過去･今･未来を考える

考える科３「メタ認知」
論理的思考（パラグラフライティング）→ 創造的思考（新しい大学入試を考える）→ メタ認知（いのちの学習）

日本人の心とも言える「おもてなし」「もったいない」「えん」について追究し，日本人のアイデンティティについて考え，カナダでの学校生活，家庭生活と比較していきます。

自分の過去をふりかえり，日本で生活している今の自分を見つめ直し，未来の自分を考えるプロジェクトです。

S1 日本の課題プロジェクト

- 現代日本が抱える課題の解決策を探る -

1. 研究室訪問
2. フィールドワーク・文献調査
3. ポスターセッション（グループ）
4. 論文執筆

S2 グローカルプロジェクト

- グローバル社会の課題の解決策を見い出し，国際的視野を錬成する -

1. 関大SDGｓフォーラム
2. ハワイフィールドワーク・文献調査
3. ポスターセッション（個人）
4. 論文執筆

S3 起業プロジェクト

- 地球規模の多様な課題を自分事として捉え，考動する -

1. 卒業研究発表会（予選会・本選会）
2. ビジネスプランコンペティション
3. 文化祭出店
4. 事業報告会

みなさんが将来グローバルリーダーとして活躍するため，地球規模の多様な課題に向き合い，それらを解決するため，１年生ではグループ研究，２年生では個人研究を行い，共に学び，多面的に検討し，課題解決に向けて取り組む実践力を身につけていくプロジェクトです。

このプロジェクトでは，少人数のゼミで活動し，外部講師の指導を受けながら，課題設定，フィールドワーク，文献調査，ポスターセッション，論文執筆を行います。関西大学と連携した，併設校ならではのプロジェクトです。

- Ⓐ 社会系列（３ゼミ）：経済産業・地域創生・政治
- Ⓑ 人間系列（３ゼミ）：国際協力・文化歴史・教育
- Ⓒ 自然系列（２ゼミ）：都市環境・自然環境
- Ⓓ 安全系列（２ゼミ）：危機管理・災害事故

自分たちの考えたビジネスプランが果たして社会で通用するのか。クラス内でコンペティションを行い，実際に経営者の方に助言をもらい，活動していきます。

これまで取り組んできた課題研究で学んだことを生かして，実践するプログラムです。

中等部 考える科

–考えることを科学する–

考える科について

考える科とは，本校の重点目標である思考力の育成に特化した授業です。この授業では考えることを科学し，幅広いテーマを扱いながら考えることを楽しみます。本校では考える方法を『1つの視点で深く掘り下げる（垂直思考）』と『多面的な視点で発想を広げる（水平思考）』ととらえています。そして，最終的には自分がどのような存在なのかを自己分析させる力（メタ認知能力）の獲得を目指します。

思考力の育成

総合的な学習の時間

・教科横断的な問題解決能力の育成
・創造的，協同的に取り組む態度の育成

教 科

・言語や数などの情報を目的に応じて使いこなす力の育成

考える科

・思考スキルの活用
・道徳的実践力の育成

カリキュラム

中等部1年：考える科１「水平思考」

多面的思考（コミュニケーション１，ディスカッション）→評価（プレゼンテーション）→比較分類（調べるミッション）

中等部2年：考える科２「垂直思考」

多面的思考（コミュニケーション２）→ 批判的思考（ストレスマネジメント）→ 論理的思考（ディベート演習）

中等部3年：考える科３「メタ認知」

論理的思考（パラグラフライティング）→ 創造的思考（新しい大学入試を考える）→ メタ認知（いのちの学習）

ものごとをより深く広く考えるためには思考スキルが必要です。この授業では様々な思考スキルを活用し，自らの考えをまとめていきます。ディスカッションやディベート・プレゼンテーションなどのまとめていく過程を繰り返すことで，実践的な表現力が身についていきます。

考える科で育成することが期待できる思考スキル

比較する	分類する	関連づける	理由づける	多面的にみる
評価する	構造化する	具体化する	抽象化する	推論する

MACHIプロジェクトについて

関西大学中等部がある町「高槻市」。私たちは知らないうちに高槻市の皆さんに助けられながら，高槻の資源の恩恵を受けて過ごしています。高槻にいる多くの人やモノと関わることによって，高槻がどういった場所で，どのようなことが行われているのかを知り，高槻にある学校の生徒として貢献できることを考えていくプロジェクトです。

中等部1年　MACHI プロジェクト

–高槻を知り，高槻に関わり，高槻の人とつながる–

系列別調査活動

中等部1年では，興味関心に合わせて国際・地歴・自然・ボランティア系列に分かれて調査活動します。各系列で活動する中で課題を見つけ，解決の糸口を高槻の人たちとともに探っていくプロジェクトです。

異文化を知り，異文化と交流する
国際系列

高槻の地理歴史をPRしよう
地歴系列

高槻の竹との共生を目指して
自然系列

心でつながる出会い
ボランティア系列

系列フィールドワーク

各系列ごとに調査活動を実施する上で，現場で活動をされている方々にお話を伺いました。また，活動に参加させていただくこともありました。

FWにご協力いただいた企業・団体

国際系列
1. 高槻光影社「国際交流写真展」
2. 関西大学外国語学部　守崎誠一教授

地歴系列
1. 高槻市立しろあと歴史館
2. 高槻市立歴史民俗資料館

自然系列
1. 上宮天満宮竹の採取
2. 弁天公園にて竹垣作製
3. 学校に展示する門松の企画と制作
4. 高槻森のプラットフォーム

ボランティア系列
1. 古曽部防災公園
2. いまむらこどもえん
3. 磐手保育園
4. 関西大学中高ライブラリー

Schedule

4月
ープロジェクトとはー
・系列ガイダンス
・系列選択

5月
ープロジェクトとはー
・系列希望調査
・系列配属決定

6月
ー課題発見ー
・講演会
・調査計画
・系列FWの準備

7月
ープロジェクトの実行ー
・系列FW
・調査活動

8月
ープロジェクトの実行ー
・調査活動

9月
ープロジェクトの実行ー
・調査活動

10月
ープロジェクトの実行ー
・中間発表準備

11月
ー課題解決ー
・課題解決に向けた調査活動

12月
ー中間発表ー
・中間発表会

1月
ー課題解決ー
・課題解決に向けた調査活動

2月
ー課題解決ー
・課題解決に向けた調査活動

3月
ーふりかえりー
・まとめ
・評価

MIRAIプロジェクトについて

みなさんの食卓に並ぶごちそう，そこにたどり着くまでに，いったい何人の人が関わっていると想像できますか。人が働き，ものが流通することで，人は暮らしていけるのです。

産業の構造を知り，人と人とのつながりを実感し，人が暮らす地域とは何かを産業を通じて考えるプロジェクトです。

中等部2年　MIRAI プロジェクト

–ものづくりから人がつながる地域づくりへ–

日置川宿泊研修 [農業体験 / 物産展企画ミーティング]

日置川宿泊研修に向けて，事前学習として第１次産業・第２次産業・第３次産業を学びます。研修では，全生徒が農家に宿泊し，農林漁村の生活を通して自然との共生や産業で生きる意味を理解します。

関西大学高槻ミューズキャンパスで実施予定の日置川物産展のための企画・立案をもとに，農家の方々に助言をいただくことで，さらに第６次産業を学びます。

研修内容
1．民泊体験
2．ほんまもん体験（木工品・梅ジュース・備長炭・味噌づくり・梅ジャム・藍染め）
3．ドラゴンボート体験
4．物産展企画ミーティング

産業フィールドワーク

第１次産業・第２次産業・第３次産業に分かれて職業を体験。その後，日置川物産展へ向けて，産業を担う方々の苦労や工夫を知りました。

体験先

第１次産業
- 畑中農園
- 高槻しいたけセンター
- 高槻市内個人農家

第２次産業
- 高槻化成株式会社
- 株式会社小松製作所

第３次産業
- ケンタッキーフライドチキン アル･プラザ高槻店
- 平和堂アルプラザ
- 高槻アレックスシネマ
- 大垣書店 高槻店
- オーモチ靴屋
- 魚政
- 洋食のいろは
- O's HAIR　アクトモール店
- 高槻あいわ保育園
- ロッテリア 高槻アクトアモーレ店
- ケアーズドラッグ
- コスメティックギャラリーＲＩＮ
- ユニヴ・ライフ株式会社 高槻店（不動産）
- ベーカリーカナリヤ
- コメダ珈琲 ＪＲ高槻駅北店
- コーヒーマウンテン
- 大阪農園
- 天庄（果物野菜）
- 天勝堂（印鑑）
- 高槻北消防署

日置川物産展 in 高槻ミューズキャンパス

日置川宿泊研修，産業フィールドワークを通じて，「もの」がつながることを意識した物産展を実施。日置川でお世話になった方々にもご協力いただき，たくさんの保護者や生徒達に日置川で生まれた「もの」を届けました。

Schedule

4月
ープロジェクトとはー
・ガイダンス
・活動計画

5月
ープロジェクトの実行ー
・日置川宿泊研修準備
　産業と地理

6月
ープロジェクトの実行ー
・日置川宿泊研修準備
　プロフィール作成

7月
ープロジェクトの実行ー
・日置川宿泊研修
　民泊
　家業体験
　物産展打ち合わせ

8月
ープロジェクトの実行ー
・調査活動

9月
ープロジェクトの実行ー
・産業FW準備

10月
ープロジェクトの実行ー
・産業FW
・日置川物産展準備

11月
・プレゼンテーション
・日置川物産展

12月
ー中間発表ー
ープロジェクトのまとめー
・地域創生ディベート準備

1月
ープロジェクトのまとめー
・地域創生ディベート準備

2月
ープロジェクトのまとめー
・地域創生ディベート

3月
ーふりかえりー
・評価

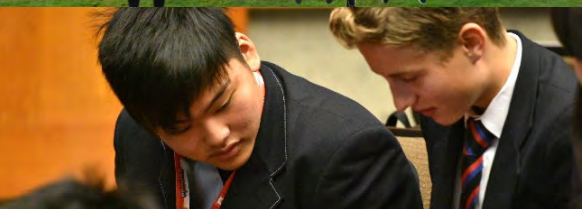
MICHIプロジェクトについて

日本人の心とも言える「おもてなし」「もったいない」「えん」について追究し，カナダでの学校生活，家庭生活と比較して，日本人のアイデンティティーについて考えます。

自分の過去をふりかえり，日本で生活している今の自分を見つめ直し，未来の自分を考えるプロジェクトです。

中等部3年　MICHI プロジェクト

–高槻，地域，世界の人とつながり，自分のあり方を考える–



系列別調査活動

日本を知ることを目的として，生徒たちは興味関心に基づいて，おもてなし（異文化受容），もったいない（環境・食料），えん（共同体）の３つの系列に分かれて活動します。

おもてなし系列　異文化受容を知る

もったいない系列　環境と食料を知る

えん系列　共同体を知る

カナダ研修［ホームステイ / 学校交流］

カナダは多文化国家であり，ホームステイ先のファミリーや学校で出会う生徒達にもいろんな人たちがいます。そして，日本人である自分自身がどのような存在であるかを考えさせられる毎日を過ごします。研修に行く前の自分に向けた手紙を書くことで，行った後の自分の考えの成長を実感します。自分とは何か，自分はどうしていきたいのか。中等部最後のプロジェクト学習では，自分自身について考える機会を多く設けています。

研修内容

１日目　出国
２日目　バンクーバー研修・報告会
３日目　ホストファミリーと対面
４日目　ファミリーデイ
５日目　現地校交流・授業
６日目　現地校交流・授業・フェアウェルパーティ
７日目　大学・博物館見学
８.９日目　帰国

Schedule

4月
–プロジェクトとは–
・ガイダンス
・系列選択

5月
–プロジェクトの実行–
・京都FW準備
・京都FW

6月
–プロジェクトの実行–
・系列活動
　ポスターづくり

7月
–プロジェクトの実行–
・系列活動
　ポスターづくり
・カナダ研修準備

8月
–プロジェクトの実行–
・系列活動
　ポスターづくり

9月
–プロジェクトの実行–
・カナダ研修準備

10月
–プロジェクトの実行–
・カナダ研修
・研修ふりかえり

11月
・プレゼンテーション

12月
–中間発表–
–プロジェクトのまとめ–
・My Story

1月
–プロジェクトのまとめ–
・My Story

2月
–プロジェクトのまとめ–
・My Story

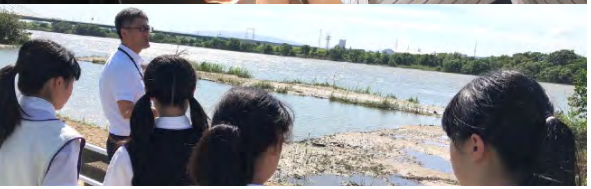
3月
–ふりかえり–
・評価

課題研究について

関西大学高等部では，設立当初より課題研究に取り組んできました。2014年度のSGH事業の採択によってさらにその内容は充実し，各ゼミを大学の先生に１人ずつサポートしていただくことで，より専門性を深めることができています。

高等部１年生ではグループ研究，2年生では個人研究に取り組みます。課題設定を終えたメンバーが分野ごとに集まり，グループ学習やディベート，プレゼンテーション，フィールドワークなどを行います。その中で自らの意見と他者の意見をもとにして，課題解決のための道筋を考え，根拠をもとにして意見をまとめます。しかし，この過程は簡単なものではないことを徐々に生徒たちは実感しています。仲間とともに支え合いながら，さまざまな視点で物事を考えることの重要性を認識し始めています。このカリキュラムの中で，答えが一つではない世界ではばたくために，合意形成力，批判的思考力，論理的思考力などのさまざまな能力を身につけられることを期待しています。

高等部1年　プロジェクト基礎



関西大学研究室フィールドワーク

ゼミ志望理由書を提出し，生徒達はそれぞれ10のゼミに配属が決まりました。いよいよプロジェクト型のグループ研究がスタートします。研究をはじめる第一歩として，研究とは何かについて研究のプロに直接話を伺いました。

系列	ゼミ	研究者名	所属		役職
社会	経済産業	北原　聡	関西大学	経済学部	教授
	地域創生	後藤　健太	関西大学	経済学部	教授
	政治	石橋　章市朗	関西大学	法学部	教授
人間	国際協力	久保田　賢一	関西大学	総合情報学部	教授
	文化歴史	小川　一仁	関西大学	社会学部	教授
	教育	黒上　晴夫	関西大学	総合情報学部	教授
自然	都市環境	楠見　晴重	関西大学	環境都市工学部	教授
	自然環境	中井　美早紀	関西大学	化学生命工学部	准教授
安全	危機管理	亀井　克之	関西大学	社会安全学部	教授
	災害事故	川口　寿裕	関西大学	社会安全学部	教授

京都フィールドワーク

課題設定とアウトライン計画を終えた生徒達が，実際に企業や施設にインタビュー調査へ行きました。事前のリサーチクエスチョンの検討から大学の先生にご指導いただきました。またグループ班長は企業・施設担当者とメールで質問内容や待ち合わせ場所などのやりとりを行い，当日のFWに備えました。当日は，iPad係がリアルタイムに情報をアップし，お互いに活動の内容を共有しました。

インタビュー調査にご協力いただいた企業・団体

1. 大阪府政策企画部万博誘致推進室
2. 京都市庁舎産業観光局商工部伝統産業課 (京都市動業館みやこめっせ)
3. 京都外国語大学外国語学部
4. 京都市景観まちづくりセンター
5. 京都駅周辺の観光地
6. 高槻市役所 都市づくり推進課
7. 神戸税関
8. 株式会社スプレッド
9. 大阪ユニセフ協会
10. アジア協会アジア友の会
11. コリアNGOセンター
12. 雲山歴史館
13. アジア太平洋研究所
14. 数研出版
15. 関西大学中高等部カウンセラー
16. 関西大学総合情報学部 黒上晴夫教授
17. 高槻市役所 産業環境部環境緑政課
18. 積水ハウス株式会社 総合住宅研究所 納得工房
19. 京都市 行財政局 防災危機管理室
20. 環境省近畿地方環境事務所
21. 京都水族館
22. 大阪市立自然史博物館
23. コミュニケア24癒やしの高槻館
24. 大阪市立大学 小島明子准教授
25. 藍野高等学校衛生看護科
26. 日産大阪販売株式会社
27. 京都市市民防災センター

Schedule

4月
ー研究とはー
・ガイダンス
・ゼミ希望調査
・新入生研修

5月
ー研究とはー
・ゼミ配属決定
・関西大学研究室FW

6月
ー課題発見ー
・輪読
・講義
・FW

7月
ー課題設定１ー
・グループ分け
・課題設定
・研究計画

8月
ー研究の実行ー
・FW
・文献調査

9月
ー課題設定２ー
・課題の妥当性検証
・先行研究調査

10月
ー研究の実行ー
・京都FW
・文献調査
・ポスター準備

11月
ー中間発表ー
・ポスターセッション
・アウトライン

12月
ー研究のまとめーー
・アウトライン補正

1月
ー研究のまとめーー
・論文執筆

2月
ー研究のまとめーー
・論文執筆
・論文相互評価
・論文訂正

3月
ー成果の発表ー
・発表
・評価

高等部2年　プロジェクトゼミ

関大SDGsフォーラム

グローバルな社会問題を背景として，自らの興味関心に基づいた課題を発見することを目的として，全生徒は国連が提唱するSDGsの17のテーマに分かれました。日本の企業や諸団体の活動を知り，日本の「強み」について考えるとともに，外から見た日本について考える機会となりました。

インタビュー調査にご協力いただいた企業など

1. 貧困をなくそう
2. 飢餓をゼロに
3. すべての人に健康と福祉を
4. 質の高い教育をみんなに
5. ジェンダー平等を実現しよう
7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
8. 働きがいも経済成長も
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
10. 人や国の不平等をなくそう
11. 住み続けられるまちづくりを
12. つくる責任つかう責任
14. 海の豊かさを守ろう
15. 陸の豊かさも守ろう
16. 平和と公正をすべての人に
17. ﾊﾟｰﾄﾅｰｼｯﾌﾟで目標を達成しよう

株式会社かんぽう
株式会社かんぽう
ダイキン工業株式会社・株式会社LIXIL
株式会社堀場製作所・株式会社新興出版社啓林館
大阪市男女いきいき財団
富士通株式会社
株式会社SCREENﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ・株式会社JTB
富士通株式会社
浄土真宗本願寺派（西本願寺）
錦城護謨株式会社・株式会社竹中工務店
サラヤ株式会社
株式会社カネカ
サラヤ株式会社
NPO法人NICE
JICA関西

ハワイフィールドワーク

実際に海外企業で働く人たちにインタビュー調査を行いました。グループ班長は事前に企業担当者とメールでのやりとりを英語で行い，フィールドワーク当日に向けて，入念に準備を行いました。フィールドワーク後は，バディに協力してもらいながら発表原稿と発表スライドを作成し，フィールドワークで得られた成果をハワイ現地報告会にて全グループが英語で発表しました。

インタビュー調査にご協力いただいた企業・団体

1. JTachibana Enterprises, LLC：ゴルフクラブ
2. Monsanto Company：農業
3. Kintetsu International Hawaii Company：旅行
4. Office of Councilmember Ann H.Kobayashi ：市議会議員
5. KIKU-TV：テレビ放送局
6. The Plaza at Mililani：高齢者施設
7. Prince Waikiki (Prince Resorts Hawaii)：ホテル
8. Marriott Hotel (Kyo-ya Hotels &Resorts)：飲食（ホテル）
9. Iolani Palace：博物館
10. Iolani Sportswear：アパレルメーカー
11. Global Village Hawaii：語学教育
12. Blue Planet Foundation：科学技術
13. First Hawaiian Bank：金融
14. ICC Hawaii：語学学校
15. The Hawaii Japanese School（レインボー学園）：学校
16. JTB Global Travel Service (JGTS)：観光
17. JTB Hawaii, Inc.：観光
18. Flora-Dec Sales, Inc.：クラフトショップ
19. Hawaii Tourism Japan：観光
20. Paradise Cove Luau：エンターテインメント
21. Y. Hata & Co., Limited ChefZone：食品
22. Japanese Cultural Center of Hawaii：文化施設
23. Jiro Saegusa, MD：医療機関
24. Foster Botanical　Garden：植物園
25. Ala Moana Center ：商業施設
26. Honolulu Zoo：動物園
27. Longs Drugs：薬局
28. Waikiki Aquarium：水族館
29. Sheraton Princess Kaiulani：ホテル
30. PALAMA SUPER MARKET：スーパーマーケット
31. Sheraton Waikiki：ホテル
32. Hawaii State Capital：州議会議事堂
33. Vim&Vigor：健康食品
34. TransPacific Professional, LLC.：コンサルティング
35. Bishop Museum：博物館
36. Disney Hawaii Resort：ホテル
37. punahou school：学校
38. IDEA'S music and books：書店

Schedule

4月
ー研究とはー
・ガイダンス
・ゼミ内プレゼン

5月
ー研究計画ー
・アウトライン

6月
ー研究の実行ー
・文献調査
・序章執筆
・関大SDGsフォーラム

7月
ー研究の実行ー
・ハワイFW準備
・文献調査
・先行研究調査

8月
ー研究の実行ー
・文献調査

9月
ー研究の実行ー
・文献調査
・ハワイFW準備

10月
ー研究のまとめーー
・ハワイFW

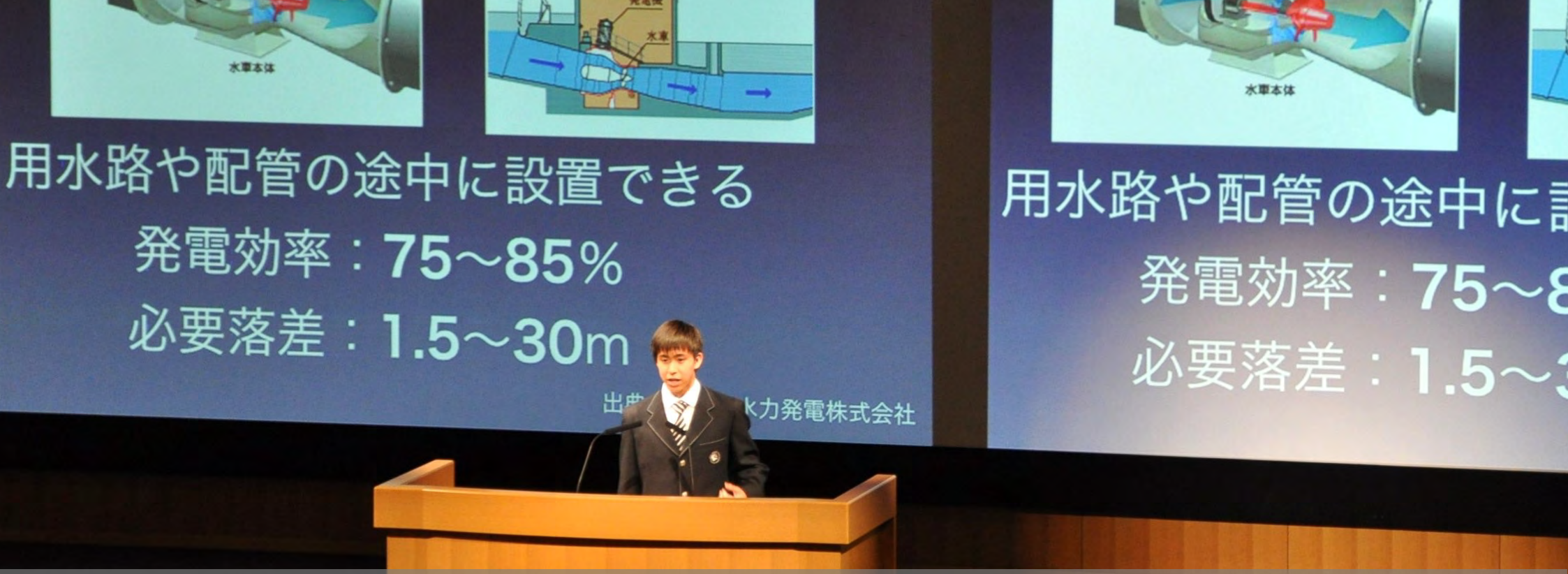
11月
ー中間発表ー
・ポスターセッション
・アウトライン
補正

12月
ー研究のまとめーー
・調査研究
・論文執筆

1月
ー研究のまとめーー
・論文執筆
・論文相互評価
・論文訂正

2月
ー研究のまとめーー
・抄録作成

3月
ー成果の発表ー
・発表準備
・発表練習
・評価



高等部3年　卒業研究

卒業研究発表会

これまでに培ってきた力を生かし，個人課題研究の発表会を実施します。自らが立てた答えのない問いに立ち向かい，あっているか，間違っているか，自問自答を繰り返したプロジェクト科目の時間は簡単な道のりではありませんでした。
多面的なものの見方，論理的な考え方を精一杯披露する場面として，予選会と本選会を行います。

発表テーマ一部抜粋

1. 高槻ミューズキャンパスの初・中・高等部生に対する非常食の課題
2. 子育て世代の仕事と家庭の両立における課題
3. 水墨画で描かれた猿に関する考察
4. 海洋生物はマイクロプラスチックを吸収,排泄出来るのだろうか
5. 正規雇用増減と若者就職支援
6. 一事不再理による加害者利益の考察
7. ブルンジ共和国（中部アフリカ）でキャベツ農業の発展による慢性栄養不良からの脱却を目指す
8. 高等学校のICT教育における学力向上方法
9. 学校ビオトープから考える持続可能な学習環境を提案する
10. 南海トラフの被害予想と適切な避難方法
11. 堺打刃物の存続問題

起業プロジェクト

自分たちの考えたビジネスプランが果たして社会で通用するのか。クラス内でコンペティションを行い，実際に起業家の方に助言をもらいながら，活動していきます。これまで取り組んできた課題研究を実践するプログラムです。

Schedule

4月
ー研究の成果ー
・プレゼン準備
・プレゼン練習

5月
ー研究の成果ー
・予選会
・本選会

6月
ー起業プロジェクトー
・起案書作成

7月
ー起業プロジェクトー
・起案コンペティション

8月
ープログラムの実行ー
・起業

9月
ープログラムの実行ー
・運営

10月
ープログラムのまとめー
・ふりかえり

11月
ー成果発表ー
・決算報告会

12月
ー成果発表ー
・報告書提出

1月

2月

3月

海外研修プログラム

本校の中高生と國立臺灣師範大學附屬高級中學の生徒たちで交換留学を行います。訪問では、1人1家庭にホームステイし、学校の授業に参加します。また、課題研究テーマに関わる企業を訪問し、卒業研究テーマの発表会を実施します。受け入れでは、バディの案内で授業に参加してもらったり、エクスカーションを通じて、日本の文化を体験してもらいます。

TAIWAN

短期交換留学　台湾

2週間、現地の一般家庭に1人１家庭で滞在し、家族の一員として生活します。多くの時間をファミリーと過ごすことで、一生忘れることができない生活体験を得ることができます。
毎日の授業は、英会話集中レッスンとスピーチレッスンを行います。英国人学生のサポートでペアワークやロールプレイ、クイズなどを組み込みながら、英語によるコミュニケーション力の向上を目指します。

ENGLAND

夏期研修　イギリス

受け入れでは、１週間、短期交換留学のHCI生(Hwa Chong Institution）が高等部2年生のクラスに入りバディと一緒に通常授業を受けたり、英語でディベートをしたりと、様々な授業や活動に参加します。翌年、本校生徒は1週間シンガポールのHwa Chong Institutionに入寮し、バディとともに日々の授業に参加したり、課題研究テーマに関わる企業を訪問します。

SINGAPORE

短期交換留学　シンガポール

Cultivation a New Generation of Students for Success on the Global Stage

イギリス
高等部1.2年

韓国
高等部1.2年

韓国
初等部2年

カナダ
中等部3年研修旅行

台湾
中高等部

台湾
初等部3年

カンボジア
初等部4年

シンガポール
高等部2年

ハワイ
高等部2年研修旅行

オーストラリア
初等部5年

オーストラリア
初等部6年研修旅行

関西大学中等部高等部ベンチマーク

no	能力	大項目		中項目	中項目の説明	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
						高等部3年	高等部2年	高等部1年		中等部3年	中等部2年	中等部1年	
1	自律力	生涯学習力	高	メタ認知力	自分の行動には責任が伴うことを理解し、自らの行動や態度を真摯に振り返り、その結果を積極的に改善に活かすことができる。	メタ認知力（計画性，洞察力，失敗，自分を疑う）	自らの行動や態度を真摯に振り返り、その結果を積極的に改善に活かすことができる	自らの行動や態度を適宜振り返り、その結果を適切な改善をすることができる	自らの行動や態度を振り返り、その結果を改善に活かすことができる	自ら関わる力	自ら積極的に物事に関わり、結果を意識しながら振り返ることができる	自ら積極的に物事に関わり、その結果を予測することができる	自ら物事に関わることができる
			中	自ら関わる力									
		思考力	高	論理的思考力	偏った判断をすることなく、論理的に考えることができる。	論理的思考力	客観的な事実から、論証に基づいて論理的な意見や結論を多面的に導き出すことができる	客観的な事実から、問題について論理的な意見や結論を導くことができる	客観的な事実から、問題の原因について論理的に仮説を立てることができる	多面的なものの見方	客観的な事実から、問題の原因について論理的に考えることができる	物事に対して、根拠を持って異なる視点で考え、意見を述べることができる	物事に対して、根拠を持って異なる視点で考えることができる	物事を違う視点で見ることができる
			中	多面的なものの見方									
2	人間力	協働力	高	共に学ぶ力	自分の意見や考えと他者の主張を調整して、互いに納得ができる結論を導き出し、新たな問題や発展的な課題を提起することができる。	共に学ぶ力	他者の価値観や考えを尊重し、考えの根拠から共に学びを深め、新たな考えや発展的な意見を提起することができる	他者の考えから学ぼうとする姿勢を持ち、自分の考えと他者の考えから、根拠のある意見をまとめることができる	自分と他者の考えの違いを理解し、自分の意見を再構築することができる	合意形成力	自分と他者の考えの違いを理解し、お互いに考えを深めることができる	相手の考えと自分の考えを比較し、その結果納得して意見をまとめることができる	他者を受け入れる力
			中	合意形成力									
		共感的態度	高	思いやる力	相手の感情、思考、行動を理解し、共感を示すとともに、相手の立場に立って考え、行動することができる。	思いやる力	相手の感情、思考、行動を理解し、共感を示すとともに、その人が必要としていることを配慮した行動をとることができる。	相手の感情、思考や行動を思いやりを持って理解し、相手の立場に立って行動することができる	相手の感情、思考や行動を思いやりを持って理解し、共感的態度で示すことができる	他者を受け入れる力	相手の感情、思考や行動を理解し、共感的態度で受け入れることができる	相手の感情や思考、行動を理解し、受け入れることができる	相手の感情、思考や行動を理解するために向かい合う姿勢がある
			中	他者を受け入れる力									
3	社会力	社会的能動性	高	自分ごととして捉え行動する力	集団の中における、自分の役割を理解し、周りのコミュニティのために自ら進んで行動することができる	自分ごとして考える力	周りのコミュニティと自分のつながりを意識し、他者と協働しながら自ら進んで行動することができる	物事を自分ごとして捉え、自分が何ができるかを考え、他者と協働しながら行動することができる	物事を自分ごとして捉え、自分が何ができるかを考え行動することができる	状況把握力	集団の中における自分の立場と自分の果たすべき役割を自分ごとして捉えることができる	集団の中における自分の立場と自分の果たすべき役割を理解することができる	集団の中における自分の状況を知ることができる	集団の置かれている状況を理解することができる
			中	状況把握力									
		社会規範遵守	高	場に応じたふるまいができる力	社会のマナーや集団でのルールを尊重するため、自ら率先して、社会から信頼される良識ある行動を取ることができる	場に応じたふるまいができる力	社会でのマナーや集団でのルールを尊重し、他者から信頼される行動をとることができる	社会でのマナーや集団でのルールを尊重し、自ら率先して行動することができる	社会でのマナーや集団でのルールを尊重し、行動することができる	社会のルールを守る力	自分以外に対して気をくばりながら、社会のルールを守り、何をすべきか考えることができる	自分以外の特に弱者に対して気をくばりながら、社会のルールを守ることができる	自分以外へ気をくばりながら、社会のルールを守ることができる	一般的な社会のルールを守ることができる
			中	社会のルールを守る力									
4	国際力	多様性理解力	高	多様性受容力	他国文化における自国の文化や歴史の価値を理解し、さらに他国文化の価値も受け入れることができる。	多様性受容力	自分とは異なる多様な文化や歴史の背景を知り、その価値観を尊重し理解することができる	自分とは異なる多様な文化の価値や課題を知ることができる	自分とは異なる文化の価値や課題を理解することができる	自国理解力	自らの国の文化や歴史の価値を理解し、異なる価値観があることを知ることができる	自国の文化や歴史の価値や課題を理解することができる	自らの国の特徴を説明することで、国の長所や課題をまとめることができる	自らの国に興味を抱き、その特徴を説明することができる
			中	自国理解力									
		外国語活用力	高	異文化コミュニケーション力	社会的文化的な背景の異なる相手に対して、英語を用いて自らの意見を述べる中でお互いに理解することができる。	異文化コミュニケーション力	相手の意図を理解し、適切な表現を用い、表情豊かに英語でコミュニケーションを取ることができる	相手の意図を理解し、適切な表現を用いて英語でコミュニケーションを取ることができる	相手の意図を理解し、英語でコミュニケーションを取ることができる	外国語運用能力	異なる文化を持つ人々と英語で自らの考えを表現し、コミュニケーションをとることができる	英語で自らの考えを表現することができる	外国人と、簡単な日常会話をすることができる	外国人と英語であいさつをすることができる
			中	外国語運用能力									
5	創造力	問題解決力	高	問題発見力	現代社会が抱えている問題や課題について、その原因や背景を多面的に考慮し、解決するための方法を見つけることができる。	問題発見力	現代社会が抱えている課題をグローバルに捉え、それらの課題に対して適切な方法で解決することができる	現代社会が抱えている課題に対して、課題の原因や背景を考えて解決することができる	現代社会が抱えている課題に対して、課題の原因や背景を考えることができる	課題遂行力	現代社会が抱えている課題を自ら発見することができる	与えられた課題に対してその原因や背景を考えて、具体的な改善点に基づいて行動することができる	与えられた課題に対してその原因や背景を考えて、具体的な改善点を挙げることができる	与えられた課題の原因や背景を考えることができる
			中	課題遂行力									
		自己表現力	高	統合力	これまで培った知識や能力を総合的に活用し、論理的な表現で、他者を納得させることができる。	統合力	これまで培った知識や能力を総合的に使って、論理的に表現し、他者を納得させることができる	これまで培った知識や能力を総合的に使って、論理的に表現し、他者の同意を得ることができる	これまで培った知識や能力を総合的に使って論理的に表現することができる	表現力	これまで培った知識や能力を使って論理的に表現することができる	自分の考えを論理的に発信することができる	自分の考えをまとめた上で、他者に発信することができる	自分の考えを他者に発信することができる
			中	表現力（説明力，情報発信力，論理的説明力）									

高等部 プロジェクト学習 カリキュラムマップ

					S1								S2								S3						
					前期					後期			前期				後期				前期						後期
No.	能力	中概念	上下	小概念	ゼミ選択	研究室FW	ゼミ内活動	課題設定	文献調査	FW	ポスターセッション	論文執筆	相互評価	課題設定	SDGsフォーラム	ゼミ内活動	ハワイFW	ハワイ報告会	ふりかえり	ポスターセッション	論文執筆	相互評価	抄録執筆	発表スライド	予選会	本選会	起業コンペ	出店計画	模擬店準備当日の運営	事業報告会
1	自律力	生涯学習力	高	メタ認知力	○								○	○					○							○				○
			中	自ら関わる力																										
		思考力	高	論理的思考力					○			○								○	○			○	○	○	○			
			中	多面的なものの見方																										
2	人間力	協働力	高	共に学ぶ力			○			○	○		○			○	○					○					○	○	○	
			中	合意形成力																										
		共感的態度	高	思いやる力			○									○								○					○	
			中	他者を受け入れる力																										
3	社会力	社会的能動性	高	自分ごととして捉え行動する力	○																						○	○	○	
			中	状況把握力																										
		社会規範遵守	高	場に応じたふるまいができる力		○				○										○									○	
			中	社会のルールを守る力																										
4	国際力	多様性理解力	高	多様性受容力		○									○		○												○	
			中	自国理解力																										
		外国語活用力	高	異文化コミュニケーション力													○	○												
			中	外国語運用能力																										
5	創造力	問題解決力	高	問題発見力	○		○	○						○	○											○				○
			中	課題遂行力																										
		自己表現力	高	統合力							○	○						○		○	○		○	○	○		○			○
			中	表現力（説明力，情報発信力，論理的説明力）																										

中等部
総合的な学習の時間
カリキュラムマップ

					J1							J2							J3					
					前期			後期				前期			後期				前期			後期		
No	能力	中概念	上下	小概念	系列選択ガイダンス	高槻調べ	高槻FW	総合学習発表会	アクションプラン作成・実行	成果発表会	FW	系列選択	産業調べ	日置川宿泊研修	日置川物産展 総合学習発表会	ディベート大会	系列選択	京都FW	キャッチコピー発表会	カナダ研修旅行 学校交流・ホームステイ	カナダふりかえり 総合学習発表会	My Story
1	自律力	生涯学習力	高	メタ認知力	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■					○	○
			中	自ら関わる力	○						○	○					○					
		思考力	高	論理的思考力	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■					○	
			中	多面的なものの見方		○							○				○					
2	人間力	協働力	高	共に学ぶ力	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■				○		
			中	合意形成力		○			○		○			○								
		共感的態度	高	思いやる力	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■				○		
			中	他者を受け入れる力		○			○					○								
3	社会力	社会的能動性	高	自分ごととして捉え行動する力	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■						
			中	状況把握力			○				○			○				○				
		社会規範遵守	高	場に応じたふるまいができる力	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■						
			中	社会のルールを守る力			○				○			○				○				
4	国際力	多様性理解力	高	多様性受容力	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■						
			中	自国理解力						○						○				○		
		外国語活用力	高	異文化コミュニケーション力	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■						
			中	外国語運用能力																○		
5	創造力	問題解決力	高	問題発見力	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■						
			中	課題遂行力					○						○			○				
		自己表現力	高	統合力	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■						
			中	表現力（説明力，情報発信力，論理的説明力）				○		○					○	○			○			○

中等部
考える科
カリキュラムマップ

					J1							J2							J3					
					前期				後期			前期				後期			前期		後期			
No	能力	中概念	上下	小概念	コミュニケーション 1way2way	ビデオ学習 上手な2way	とは よいディスカッション	マンダラチャート なぞかけ大会	よいプレゼンテーションとは	情報収集・比較分類 調べるミッション	イニシアティブ コミュニケーション	TMファンクション コミュニケーション	コンセンサス コミュニケーション	タイのCMより 伝えたいこと	全般 ストレスマネジメント	本番も含む ディベート大会に向けて	パラグラフライティング	考えよう 新しい大学入試を	私のいのち紹介 人生マップ・助産師講演	がん教育講演会 テリーフォックス物語	アクションプラン作成 震災の記事より
1	自律力	生涯学習力	高	メタ認知力	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			○	○	
			中	自ら関わる力			○				○	○	○		○						○
		思考力	高	論理的思考力	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○				
			中	多面的なものの見方		○		○		○		○		○		○	○	○			
2	人間力	協働力	高	共に学ぶ力	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■					○
			中	合意形成力	○		○			○			○			○					
		共感的態度	高	思いやる力	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■					
			中	他者を受け入れる力	○	○	○						○						○	○	○
3	社会力	社会的能動性	高	自分ごととして捉え行動する力	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■					○
			中	状況把握力			○				○	○			○	○					
		社会規範遵守	高	場に応じたふるまいができる力	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■					
			中	社会のルールを守る力																	
4	国際力	多様性理解力	高	多様性受容力	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■					
			中	自国理解力												○					○
		外国語活用力	高	異文化コミュニケーション力	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■					
			中	外国語運用能力																	
5	創造力	問題解決力	高	問題発見力	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■					○
			中	課題遂行力				○		○								○			○
		自己表現力	高	統合力	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■					
			中	表現力（説明力，情報発信力，論理的説明力）			○	○	○	○				○			○	○	○	○	○

探究教育・国際理解教育「学の実化 Project Based Learning」

発　行　2019年 8月
発行者　関西大学中等部高等部 研究開発部
印　刷　関西大学印刷センター
題　字　糸見 溪南